



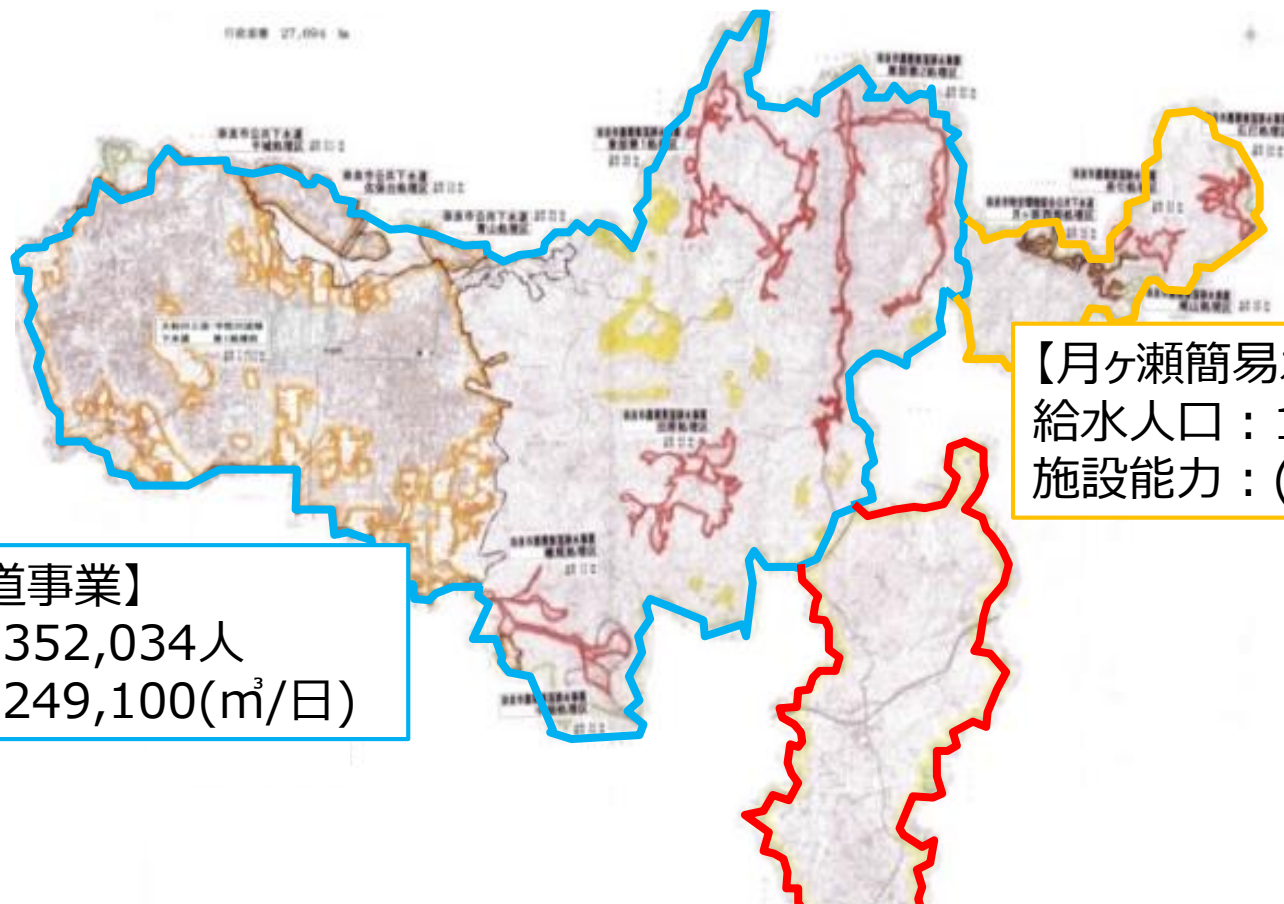
奈良市における 官民連携事業の取り組み状況について

奈良市企業局
設計工務部 官民連携推進課
主任 中川 学

目次

1. 奈良市の概況
2. 過去の取組
3. 包括委託前の業務委託状況
4. 包括委託の概要
5. 包括委託の詳細な業務内容
6. 業務ごとの特徴及び課題
7. 包括委託に期待する効果
8. 今後の展望

1. 奈良市の概況～水道事業～

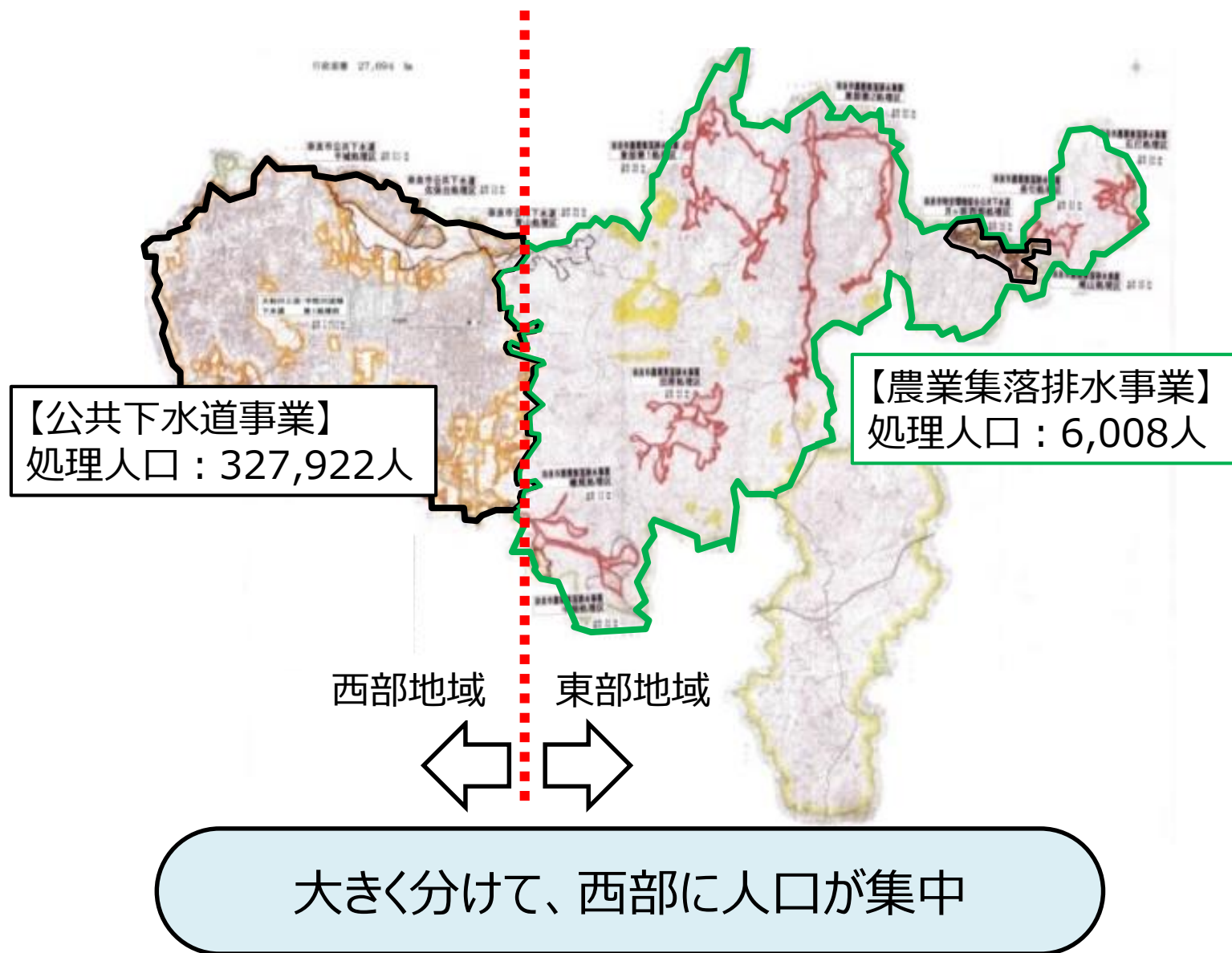


【奈良市水道事業】
給水人口：352,034人
施設能力：249,100(m³/日)

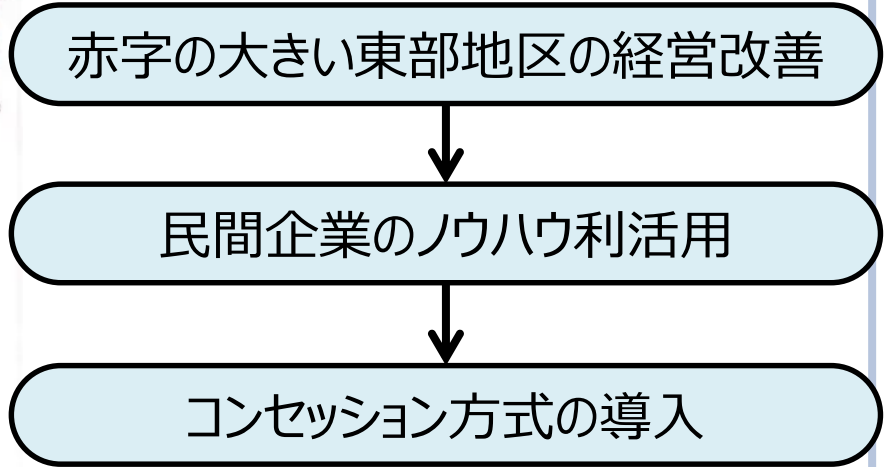
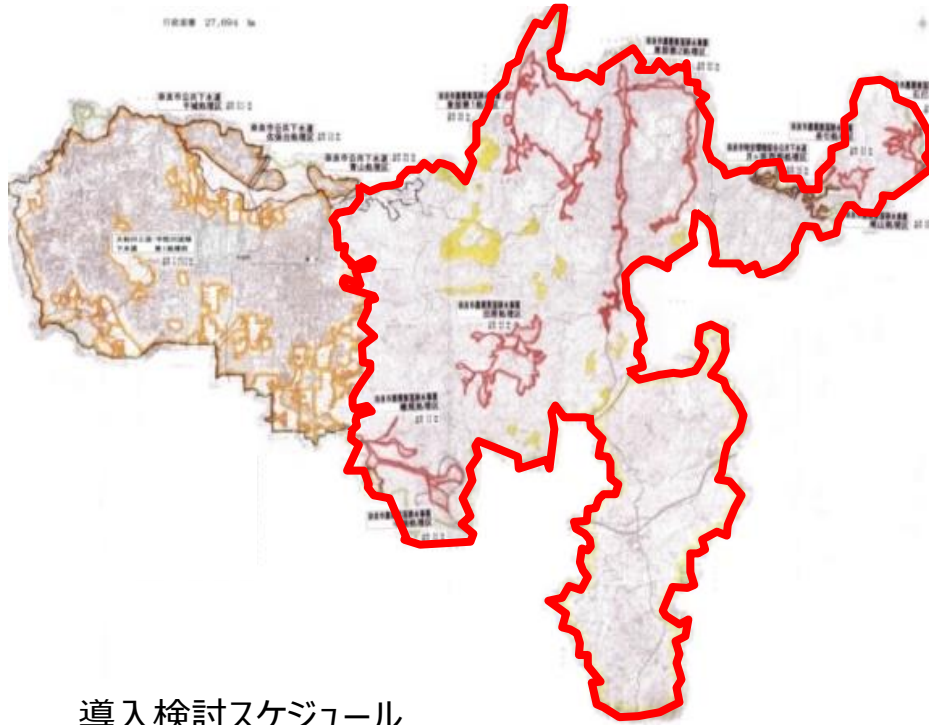
【月ヶ瀬簡易水道事業】
給水人口：1,430人
施設能力：(m³/日)

【都祁水道事業】
給水人口：5,077人
施設能力：(m³/日)

1. 奈良市の概況～下水道事業～



2. 過去の取組～東部地域におけるコンセッションの導入検討～



導入検討スケジュール

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
コンセッション導入に係る 内部検討開始		調査業務委託 (先導的官民連携支援事業)	
		情報整備調査業務委託 (民間資金等活用事業調査費補助事業)	
		3月議会 条例否決	9月議会 条例提出不可
		地元の反対	
		包括的民間委託の導入	

3. 包括前の業務委託状況

【下水道管路】

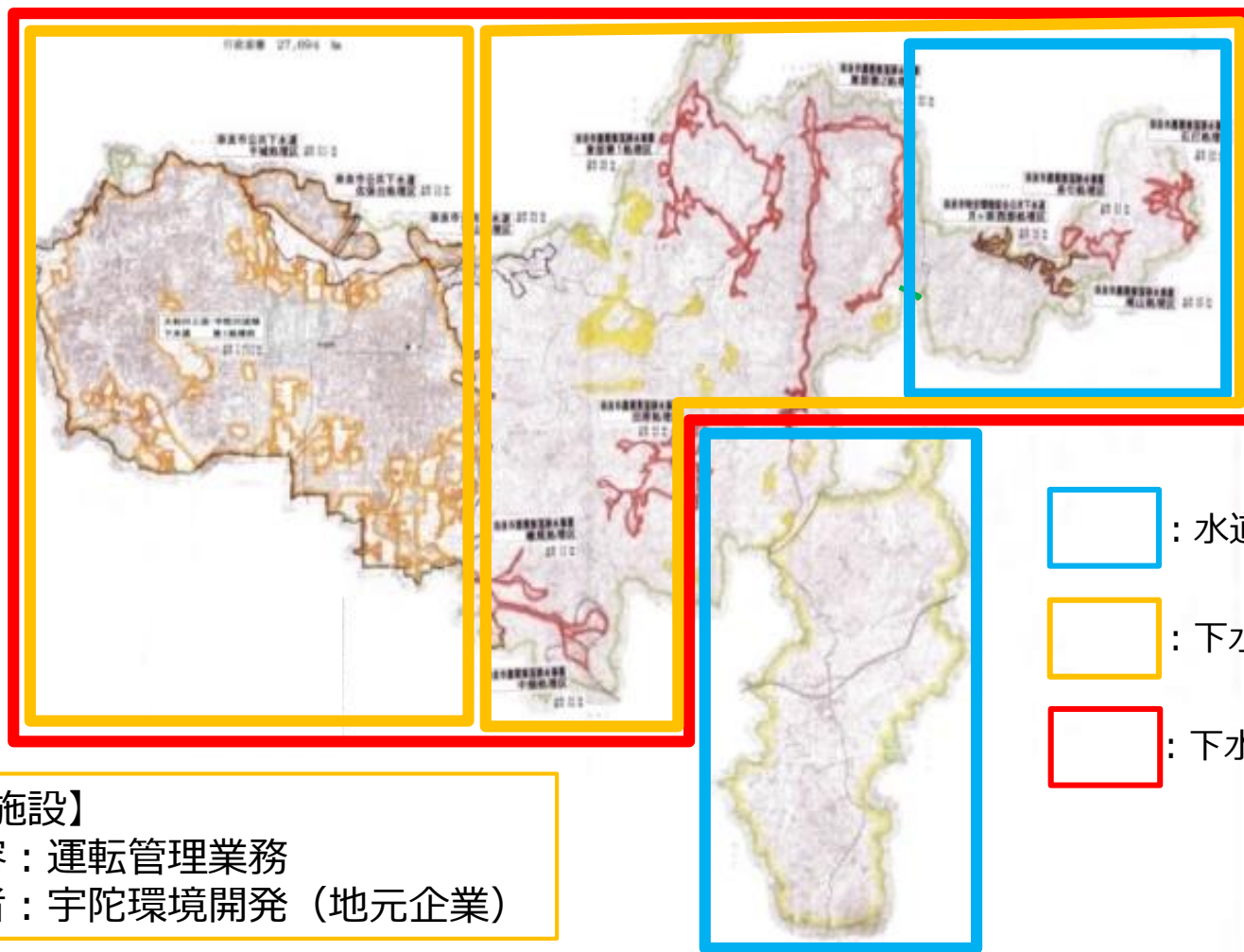
業務内容：日常管理、苦情対応等

委託業者：宇陀環境開発（地元企業）

【水道施設】

業務内容：運転管理業務

委託業者：神鋼環境メンテナンス



【下水道施設】

業務内容：運転管理業務

委託業者：宇陀環境開発（地元企業）

4. 包括業務委託の概要

～奈良市東部地域等における上下水道施設等
包括的維持管理業務委託～

【目的】

- ◆維持管理手法の転換
発生対応型⇒予防保全型
- ◆官民の在り方検討(東部地域)

【期間】

H.30.10.1～H33.3.31(2.5年間)

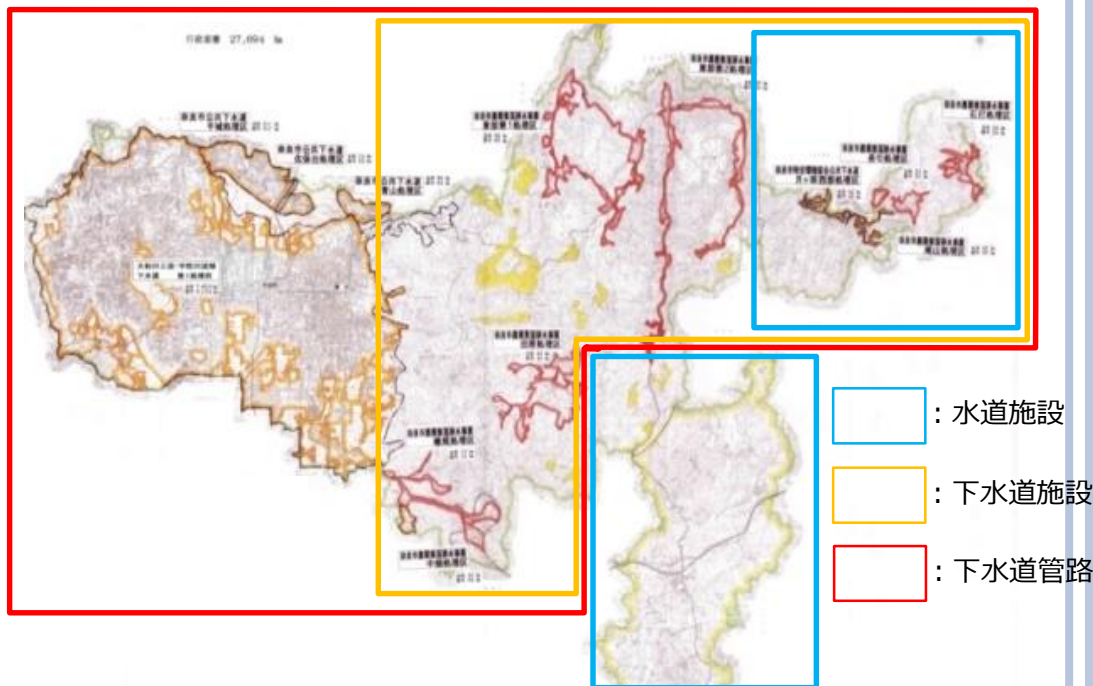
【費用】

約5億5500万(税込み 2.5年間)

【受託業者】(公募型プロポーザル)

神鋼環境ソリューション・神鋼環境メンテナンス・宇陀環境開発・管清工業・メタウォーター・アスコ大東共同企業体

【業務範囲】



業務名称	対象地域	担当	備考
統括管理業務	—	神鋼環境ソリューション	
都祁・月ヶ瀬地区水道施設点検維持管理業務	都祁・月ヶ瀬	神鋼環境メンテナンス★	
東部地域終末処理場等運転管理業務	東部地域	宇陀環境開発★	
計画的維持管理業務	市内全域	管清工業	別途契約(本契約は、年度ごとに締結)
日常的維持管理業務	市内全域	宇陀環境開発★	奈良市下水道サービス(電話受付時の略称)
計画的改築業務(DB)	市内全域	管清工業・アスコ大東	別途契約(本契約は、年度ごとに締結)
維持管理におけるICT構築検証業務	市内全域	メタウォーター	

★ : 従来からの委託業者

5. 詳細な業務内容

業務名称	分類	業務内容
統括管理業務	上下水道	一元統括管理業務
都祁・月ヶ瀬地区水道施設 点検維持管理業務	水道	都祁・月ヶ瀬地区における水道施設点検維持管理業務 →水道施設の巡回点検業務 etc...
東部地域終末処理場等 運転管理業務	下水道	東部地域における終末処理場等の運転管理業務 →包括的施設管理 etc...
計画的維持管理業務	下水道	巡視業務、点検業務、調査業務 →ストックマネジメント計画に基づくカメラ調査 etc...
日常的維持管理業務	下水道	住民対応・事故対応業務、閉塞調査・解消業務、管路の点検・清掃業務、緊急時及び災害対応業務、軽微な補修業務など →苦情窓口電話対応業務を追加 etc...
計画的改築業務	下水道	下水本管の改築に係る詳細設計 下水本管の改築工事
維持管理における ICT構築検証業務	上下水道	ICT活用の現状・課題整理、ICTの試行導入、ICT導入効果の評価など
企画提案に基づく任意業務	上下水道	ストックマネジメント計画への移行支援、奈良市上下水道事業における官民連携のあり方検討など

6. 業務ごとの特徴と課題

【統括管理業務】

<特徴>

- ・業務ごとに担当する企業が異なる為、業務間・企業間の連携を密にし、受託者の創意工夫を促す役割（課題）
- ・各業務と奈良市との間に、統括管理を挟むことで伝言ゲームになる可能性

【東部地域終末処理場等運転管理業務】

<特徴>

- ・放流水質悪化に対するペナルティの設定
- ・委託料は、固定費+変動費で構成。変動費は、ユーティリティ費のうち薬品費が対象
- ・薬品単価は合意書を締結し、国内企業物価指数の変化率（±1.5%）に応じて毎年度毎に改定

【計画的維持管理業務・計画的改築業務】

<特徴>

- ・基本契約を共同企業体と締結し、交付金対象事業とする為、各業務では構成員と年度ごと別途契約する（課題）
- ・プロポーザル方式である本業務の当初請負率は約98%であり、別途契約を行う場合についても同じ請負率であれば、単独で入札をかける場合と比較して高額となる。（奈良市の請負率は約7~8割）

[別途契約時における契約金額決定方法]

請負金額の上限額 = 各業務の当初設計金額 × 当初請負率（業務全体の見積額 ÷ 予定価格）とし、

- ① 本市設計金額 × 当初請負率
- ② 見積書

どちらか、**最安価となる金額が契約金額**

6. 業務ごとの特徴と課題

放流水質悪化に対するペナルティの設定について

① 契約最低水準を1項目でも超過した場合

超過した終末処理場(以下当該施設という)の月額委託料(固定費分のみ)に相当する金額を当該月の日数で除した額(=委託料日額)に超過した日数を乗じた額、又は当該施設の月額委託料(固定費のみ)の50%となる額のうち、どちらか少ない方の金額を減額する。

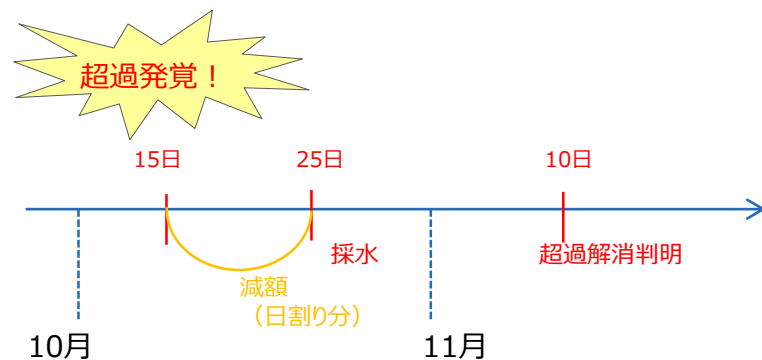
② 契約標準水準を1項目でも超過した場合

同一水質項目において、超過回数が2回を超えた時から超過1回につき、当該施設の月額委託料(固定費のみ)の25%を減額する。

③ 目標基準水質を1項目でも超過した場合

超過回数が各年度内に実施された全検査回数の半分以上を超えた場合、当該施設の3月分委託料(固定費のみ)の10%を減額する。

例



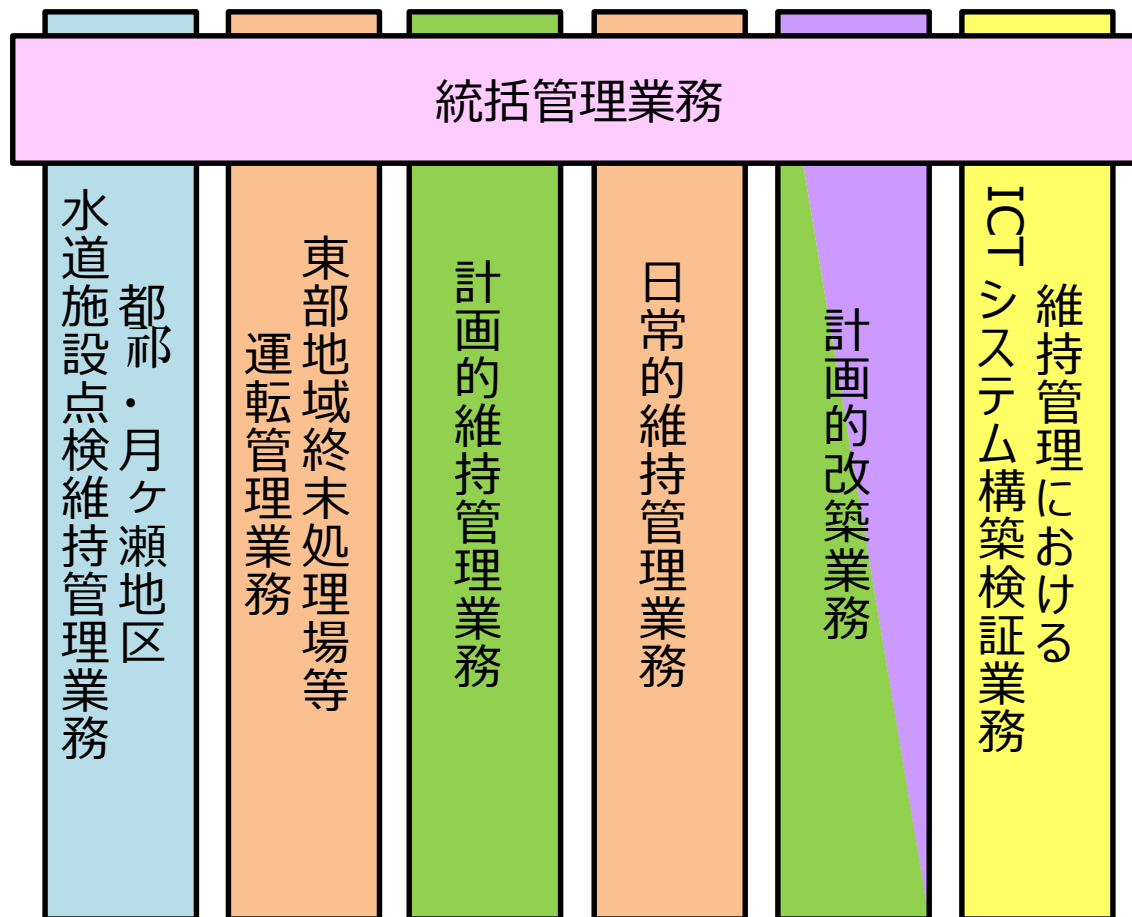
減額費用

- ① 10月15日～25日の10日分(日割り)のA施設の委託費
 - ② A施設の月額委託費の50%相当
- どちらか少ない方

7. 包括委託に期待する効果

業務間における密な連携

職員の負担軽減



今後の官民連携事業に関する課題抽出
(奈良市の実情が見えた上でのマーケットサウンディング)

8. 今後の展望

【ロードマップ】

